



SETOUCHI MUSEUM NETWORK

海を越えて、
世代を超えて
瀬戸内しまなみ海道 開通25周年

瀬戸内しまなみ海道開通25周年記念事業 せとうちアートセミナー

参加
無料

演題：“日本画家・児玉希望の戦略”

広島県立美術館では、今秋、「近代日本画の真髄 児玉希望一千変万化、驚異の筆力」展を開催しています(10月4日～12月1日)。本展は、広島県出身で昭和の日本画壇を牽引した巨匠の一人である児玉希望(1898-1971)の回顧展です。

児玉希望は、師の川合玉堂から学んだ狩野派・四条派の技法をもとに、仏画、北宋画、大和絵、花鳥画、浮世絵、歴史画、油彩画、西洋絵画、水墨画、抽象絵画と、画派や画風・画題を横断し、一人の画家のものとは思えないほど、多彩な画業を展開したことで知られます。

この展覧会では、希望の代表作を中心に、画業全体を紹介します。加えて師の玉堂や画壇の重鎮・横山大観、盟友・伊東深木ら、関わりの深い作家の作品も展示することで画業の展開の理由を探り、近代日本画史上に希望の歩みを浮かび上がらせます。

本セミナーでは、変革を恐れない胆力と、明晰な知性を併せ持ち、圧倒的な画技によって自身の芸術を、そして日本画の可能性を切り開き続けた、児玉希望の足跡についてご紹介いたします。

サイクリストの聖地



広島県立美術館 主任学芸員

(講師) **神内 有理** じんない ゆり

兵庫生まれ。京都造形芸術大学大学院芸術研究科満期退学(博士(学術))。町立久万美術館を経て2017年より広島県立美術館にて勤務。これまでに、「鉄を叩く一多和圭三展」(2010)、「白昼夢―松本俊夫の世界展」(2012)、「生誕135年記念 川端龍子展―衝撃の日本画」(2020)、「ケンピとケンピの作品を並べたら、美術についての疑問が解ける(かも)展」(2022)等を担当。



広島県立美術館
Hiroshima Prefectural Art Museum

バス：県立美術館前(縮景園前)停留所下車
路面電車：白島線「縮景園前」下車すぐ

2024年

11月30日(土)

入場無料

10:30～11:30(開場:10:00)

会場 **広島県立美術館 講堂**

定員 **100名 先着順・事前申込制**

※当日参加受付もいたしますが、事前に申込みされた方を優先します。

申込方法 下記の二次元コードから、せとうち美術館ネットワークHPへアクセスしてお申し込みください。

講演会場(広島県立美術館) 展覧会情報

近代日本画の真髄 児玉希望―千変万化、驚異の筆力展
【会期】2024年10月4日(金)～12月1日(日)
【料金】一般1,500円 高・大学生1,000円
中学生以下 無料(未就学児含め)

“詳細は広島県立美術館HPをご覧ください”
<https://www.hpam.jp/museum/>



主催：せとうち美術館ネットワーク事務局
後援：広島県・広島県教育委員会・広島市・広島市教育委員会

お問合せ先

せとうち美術館ネットワーク事務局 本州四国連絡高速道路(株)内

TEL：078-291-1081 平日9:00～17:30



SETOUCHI MUSEUM NETWORK

せとうち美術館ネットワーク

ホームページはこちらから

<https://www.jb-honshi.co.jp/museum/>

